



私たちの思い ～島の暮らしを守りたい

今、問われているのは自衛隊についての賛成・反対ではなく、この島に基地を置いていいのかどうかです。

国と市に3つのことを求めます

- ◆石垣市が率先して防衛省に市民が求めている情報を入手し、市民的検討を経て判断すること。
- ◆配備による石垣市民の暮らしや産業にもたらす影響、メリット、デメリット、リスクなど市民に明らかにすること。
- ◆有事の際には、攻撃の標的になります。市民および観光客などの安全をどう守るのか明らかにすること。



誇りある地域 農業を守りたい

高田在住 金城 哲浩

平得大俣地域は、パイナップル、マンゴーをはじめサトウキビ、野菜、畜産などの豊かな農村地域です。戦後、自由移民という形で開拓、その後新規就農者も加わり、発展してきました。また、この地域は大規模な土地改良事業を受けずに、農村の原風景を守りながら営農を続けていることに誇りを持っています。

農家を継ぐためにUターンしてくる若い世代が増え、農業経営に夢を持ち、刺激あつて頑張っています。3地区の反対決議を無視して配備を強行することは絶対にあつてはなりません。もっと幅広く市民の声を聴いて議論を重ねて欲しいと願っています。



自然豊かな この地で暮らしたい

於茂登在住 嶺井 善

2度の説明会では誠意が感じられず、不十分な答えで不信感が大きくなった気がします。6月議会で配備推進請願不採択となりましたが、これらを既成事実として再議決に出ることを心配しています。

昨年配備推進代表が配布した資料で、メリットについて500名以上来るからクリーニング業、飲食業、小売業等が儲かると書かれていて驚きました。事の本質を見ず目先の金で動くべきではないと考えます。

配備されると社会・自然・生活環境が大きな影響があり、永久に存在することになります。私たちはこれからも自然豊かなこの地で今までのように生活したいと願っています。



配備候補地を望む牧場 静かさを奪わないで！

基地は、一度受け入れると、どんどん広がります。訓練場はどこにつくるのか。ヘリコプターなど航空機の運用や空港・港湾の軍事利用はあるというし、米軍や陸自に配備されたオスプレイの飛来や大型艦船の入港など際限ありません。 真栄里在住 上原 均

平得大俣地区が基地の候補地として一方的に決められました



国による説明 会場での声

小さい農地を買い取って、重機を使わずコツコツと観光農園にしようと開拓してきた。突然の自衛隊配備の話が持ち上がった。きちんとした計画内容を教えて欲しい。夢をあきらめなければいけないのか。

場所、予算、規模等明確でない。市民は日常生活がかかっているのに、説明会に来たのに、何ら説明になっていない。近くに学校もあるに、道路をどのように使用するのかなど具体的な話がなければ検討のしようがない。



クルーズ船



ユーグレナモールにみる外国人観光客

基地による島の破壊 — 与那国の今



インビ岳のレーダー塔

自衛隊基地建設が進み、自衛隊員（160人）が既に入っている与那国島、様々な問題が生じています。

- 島のコミュニティのバランスが崩れ、豊年祭や町陸上競技大会、祭り行事などの運営に影響が出ています。配備後もさらに町民間の溝が深まっています。
- 迷彩服の自衛隊員、自然豊かな地に建つレーダー塔・駐屯地、軍事的車両の走行は島の観光のイメージを損ねています。
- 地下水源に大事な地質層が基地建設によって削りとられ、今後、赤土流出や水の枯渇等、環境問題が懸念されます。

配備候補地周辺に30ヘクタール (宮古に当初予定され広さ)の面積を重ねた地図

